

平成25年以内に観察したきのこたち

山川 続（長崎県）

（４）キチチタケ？（ベニタケ科チチタケ属）

期 日：平成25年11月4日

場 所：有田市竜門ダム

虹ノ松原で観察するキチチタケに比べ大きく、単生です。また、柄は短く、表面にはあばた状のくぼみがあります。しかし、傷口からはキチチタケと同じ黄色い乳が出て、変色しません。だから、キチチタケの仲間なんだろうが、形態的に大きく違いなので、キチチタケとしていいのか悩んでしまいます。

形が似たきのこはいくつかあります。

- ・キカラハツタケ→亜高山帯の針葉、傘上に綿毛状鱗片がある。柄に黄褐色のあばた状斑紋
- ・キカラハツモドキ→コナラ林等地上。白乳は変色しない。柄にあばた状くぼみがある。
- ・トラシマチチタケ（橋屋仮称）→傘断面に縞状斑紋がある。キカラハツモドキに似ている。

上の3種と比べても、写真のきのこは、傘上に鱗片はない、乳は黄変する、傘断面に縞状斑紋はないので、どれにもあてはまりません。

虹ノ松原で観察されるキチチタケと比較した特徴を、下表にまとめました。

キチチタケ	キチチタケ？
撮影場所：唐津市虹ノ松原	撮影場所：有田市竜門ダム
	
<ul style="list-style-type: none">・群生する。・傘は小さい。中央は浅くくぼむ。・黄色い乳が出る。・柄は細長く、表面は平滑。	<ul style="list-style-type: none">・単生する。 まばらに、2～3本生えることもある。・傘は大きい。中央は深くくぼむ。・黄色い乳が出る。・柄は太短く、表面にはあばた状のくぼみがある。

引用資料：「新版北陸のきのこ図鑑」、「原色日本新菌類図鑑Ⅱ」
「増強改訂新版 山溪カラー図鑑 日本のきのこ」

